

地域とともに未来を拓くコミュニティスクール



八王子市立城山中学校 **学校だより**

Shiroyama Junior High School

教育目標: 学ぶ・鍛える・思いやる

令和6年度 3月号

令和7年3月31日(月)

卒業式式辞（抜粋）

校長 田野倉 教泰

本校の体育祭や合唱祭は学級対抗形式で順位が付くことから、あなたは自身の能力発揮やクラスの勝利に向けて努力をしてきました。ここまでは、例年見られてきた姿であり、毎年、最上級生の力量発揮に大きく心を動かされたものです。ところが、今年は「例年見られる姿」だけではありませんでした。体育祭では、クラス席後方で学年をひとつにして組んだ円陣、合唱祭では、私自身経験をしたことのない圧倒的な学年合唱等、あなたは順位付けの概念等とはとくに超越したところで行事に臨み、城山中学校の体育的・文化的行事を新たな次元へと導きました。そして、ここに至るまでは、地道な日常生活の積み重ねがあったからこそ、ということをもう一度思い出してください。

さらに、朝礼の開始時刻を待たずに全校生徒がそろい、静かに始まりを待つ。話を聴こうとして私に正対するという現在の「当たり前」の開始点にあなたはいました。上級生が下級生に対するモデルになり、学校としてあるべき姿を創った例でもあります。

しかし、その成長は、周囲が認識することのない、たくさんの困難や失敗の上に成り立っています。失敗はつらいものですが、それを受け止めるところから次へのスタートが始まります。また、困難といえば、そのひとつにはスキー移動教室で味わった、自然が見せた、大変な厳しさも忘れてはなりません。

であるからこそ、私のところへ受験の結果報告に来たあなたからは、達成感や安堵感、そして気持ちを切り替え、今後に向けた決意を感じる事ができました。

最後にあなたに伝えます。

あなたは、城山中学校の3年間をとおして、これから送る人生の中で、ホントに苦しく嫌で辛い損な場面に出会ったとしても、最後は前を向いて、出来ることならば微笑みとともに着実な一步を踏み出す力を身に付けたものと確信しています。

そして、「前を向いて着実な一步」を踏み出す時には、城山中学校の校歌を口ずさんでみてください。歌とともに思い起こされる様々な出来事が、あなたの学びであり、鍛錬であり、思い遣りそのものなのです。

さあ、これからです。今月いっぱい、いや今日までしか使えない言葉であなたを送ります。 がんばれ、城中生

令和7年3月19日

八王子市立城山中学校 第133代校長
田野倉 教泰

3月の学校生活です



【赤ちゃんふれあい事業(第3学年)】



【生徒会朝礼】



【卒業式の予行練習】



【城山小学校で中学校の体験授業】



【離任式】



【川町門の教育目標と桜】

令和6年度が終わります

今年度の教育活動は、本日をもって終了となります。今日に至るまで、保護者や地域の方々をはじめ、多くの関係者の皆様から御理解と御支援をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

そして、日が改まると令和7年度が始まります。職員の異動もあり、新入生を迎え新たな気持ちで地域の子ども達の豊かな学びと育ちのために尽力してまいります。